

# 医療行動科学 3 : 603-3-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
3年次	通年	*小峯 千明 (保存修復学)

学修目標 (GIO) と単位数	<p>・単位数：2単位</p> <p>・学修目標 (GIO)：人間性豊かな、広く社会に貢献できる歯科医師となるためには、4年次に実施される臨床参加型臨床実習に求められる「知識」が修得できているかを問うCBT、临床上必要な歯科医学及び口腔衛生に関して、歯科医師として具有すべき知識・技能が問われるOSCEを通過する必要がある。そのため、これまで講義や実習で学んだ(学ぶ)知識について、歯科医学総合講義3と連動して修得する。</p>
担当教員	<p>塩崎 一成、松野 昌展、榊 実加、五十嵐 由里子、岡田 裕之、河野 哲朗、玉村 亮、平塚 浩一、栗原 紀子、竹内 麗理、吉垣 純子、*横山 愛、加藤 治、泉福 英信、*齋藤 真規、瀧澤 智美、谷本 安浩、永田 俊介、宇田川 琢、*有川 量崇、*鈴木 到、田口 千恵子、三枝 禎、青野 悠里、川島 央暉、*久山 佳代、中山 光子、*末光 正昌、*宇都宮 忠彦、*小峯 千明、*神谷 直孝、*寺中 文字、*庫川 幸利、*内山 敏一、*徳永 悟士、*村岡 宏隆、*大塚 航平、*小松 知広、*伊東 浩太郎、*鈴木 亜沙子、*中田 浩史、*伊藤 誠康、*五十嵐 憲太郎、*大久保 昌和、*井上 正安、*小川 晃奈、*小出 恭代、*石井 智浩、*岡部 達、*神尾 直人、*鈴木 誠、*渡邊 昂洋、*倉持 光成、*深井 譲滋、*中山 洋平、*高井 瑞徳、*齋藤 由未、*武田 萌、*高井 英樹、*石井 優貴、*山崎 陽祐、*飯田 崇、*浅野 隆、*岩崎 正敏、*岩田 好弘、*小見山 道、*鈴木 浩司、*内堀 聡史、*小林 平、*若見 昌信、長島 輝明</p>
教科書	<p>この科目単独での教科書は使用しない 2年次の各教科で使用した教科書 3年次の各教科で使用する教科書</p>
評価方法 (EV)	<p>各授業時間内で行われるチェックテストで80点未満の者は、その都度、講義時間内に再試験を行う。試験結果を学生に提示し、講評および到達度・改善点をフィードバックする。また、平常試験を前期1回(40%)、後期1回(40%)、計2回実施し、それらの平均点により評価する。平常試験を欠席し、追試験を希望する学生は、追試験から1週間以内に正当な理由を証明する書類を提出すること。審議の上、追試験の受験資格の有無を決定する。追試験の追試験は実施しない。なお、各講義中に行われる試験の成績(20%)を最終成績に加える。最終成績が65%に満たない者は、全範囲の再試験を行う。再試験の追試験はいかなる理由があっても実施しない。授業に対して4/5を超えた出席を必要とする。授業を1/5以上欠席した者は、授業の平常試験の再試験受験資格を喪失する。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>3年次において新しく学修する臨床科目および基礎科目の理解を深めるとともに、2年次配置科目に関する知識の継続性、連続性を保つことも重要である。そのため、3年次歯科医学総合講義3では、2年次科目の基本項目を振り返りながら、3年次の学修項目の総まとめを行う。歯科医学総合講義3と連動しているため、しっかりと復習を行い、チェックテストに臨んで欲しい。進級は勿論重要であるが、その先に待ち構える4年次のCBT対策になることを十分に理解し、取り組むこと。毎週試験があり大変であることは推察できるが、この科目を乗り越えることで自身の大きな自信につなげ、実力を養って4年生に進級できるよう頑張ってもらいたい。毎日Webclassで出題される日々鍛錬問題にも是非取り組んでもらいたい。継続は力なり。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/06 (月) 1時限 09:00~10:30	医療行動科学3 ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 医療行動科学3で実施する内容を理解し、歯科医学総合講義3との連携科目であることを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. Webclassの使用方法について理解する。 2. 歯科医師国家試験やCBTに出題される問題を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：Webclassの使用方法  ・準備学修時間： 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2-1) 課題探求・解決能力 ①必要な課題を自ら発見できる。 ②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ④課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出す。</p>	<p>*小峯 千明 *伊東 浩太郎 *岡部 達 中山 光子</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/06 (月) 1時限 09:00～10:30	医療行動科学3 ガイダンス	<p>すことができる。</p> <p>⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <p>①講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。</p> <p>②得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。</p> <p>④後輩等へ適切に指導できる。</p>	<p>*小峯 千明</p> <p>*伊東 浩太郎</p> <p>*岡部 達</p> <p>中山 光子</p>
2026/04/13 (月) 1時限 09:00～10:30	解剖学の試験および解説講義	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な解剖学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 歯科医師国家試験やCBTに関連する解剖学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>・準備学修項目：歯科医学総合講義3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。</p> <p>・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>4 人体の正常構造・機能</p> <p>ア 全身・口腔の構造と機能</p> <p>e 器官系 [骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系]</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-3 人体の構造と機能</p> <p>C-3-1) 身体の部位と方向用語</p> <p>①身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。</p> <p>C-3-4) 身体を構成する組織と器官</p> <p>C-3-4)-(2) 支持組織と骨格系</p> <p>①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。</p> <p>C-3-4)-(3) 筋組織と筋系</p> <p>③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。</p> <p>C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系</p> <p>①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。</p> <p>②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。</p> <p>C-3-4)-(5) 神経系</p> <p>④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能) を説明できる。</p> <p>C-3-4)-(6) 感覚器系と感覚</p> <p>①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。</p> <p>C-3-4)-(7) 消化器系</p> <p>①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。</p> <p>C-3-4)-(8) 呼吸器系</p> <p>①気道系の構造と機能を説明できる。</p>	五十嵐 由里子
2026/04/20 (月) 1時限 09:00～10:30	口腔解剖学の試験および解説講義	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な口腔解剖学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 歯科医師国家試験やCBTに関連する口腔解剖学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>・準備学修項目：歯科医学総合講義3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。</p> <p>・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化</p> <p>4 頭頸部の構造</p> <p>ア 頭頸部の部位</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p>	五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/20 (月) 1時限 09:00～10:30	口腔解剖学の試験 および解説講義	②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。	五十嵐 由里子
2026/04/27 (月) 1時限 09:00～10:30	歯の解剖学の試験 および解説講義	【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な歯の解剖学の知識を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験やCBTに関連する歯の解剖学の知識を修得する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。  ・準備学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 303教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 a 基本事項  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ①歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ③遺伝的な歯の形成異常を説明できる。	塩崎 一成
2026/05/08 (金) 1時限 09:00～10:30	発生学	【授業の一般目標】 基礎医学の一分野である発生学の理解を深め、歯科医師国家試験を通過するために2年次で学修した発生学を総復習し知識を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 顔面と口腔を発生を説明できる。 2. 顎骨および顎関節の発生と微細構造を説明できる。 3. 歯の発生を説明できる。 4. 歯根膜、歯槽骨および歯肉の微細構造を説明できる。 5. 口腔粘膜および唾液腺の微細構造を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：教科書やレジュメにて、本講義の内容を把握する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義で学修した項目を、教科書やレジュメと照らし合わせ、修得する。 事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 303教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の発生・成長・発達・加齢変化 ア 人体の発生 a 生殖形成、排卵、受精、着床、二層性胚盤、三層性胚盤、胚子期、胎児期  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 8 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 ア 頭頸部の形成 a 鰓弓 (咽頭弓) b 顎顔面 (口蓋、顎関節を含む) c 舌、唾液腺 a 歯胚の形成 b 歯の硬組織形成 c 歯周組織形成 d 歯の萌出 a 軟骨内骨化、膜内 (膜性) 骨化  【コアカリキュラム】	岡田 裕之 河野 哲朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/08 (金) 1時限 09:00～10:30	発生学	<p>C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-2) 組織、器官及び個体の発生と成長 ①人体の正常な個体発生と器官発生を説明できる。 C-3-3) 組織、器官及び個体の老化 ②老化に伴う細胞、組織、器官及び個体の形態的・機能的な変化を概説できる。 C-3-2) 組織、器官及び個体の発生と成長 ①人体の正常な個体発生と器官発生を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口腔・顎顔面領域の発生と加齢変化 ①口腔・顎顔面領域の発生を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ①歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。 ⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。</p>	岡田 裕之 河野 哲朗
2026/05/11 (月) 1時限 09:00～10:30	組織学・発生学の 試験および解説講 義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な組織学・発生学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験やCBTに関連する組織学・発生学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3，医療行動科学3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。 ・準備学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 d 組織 [上皮組織、結合 (支持) 組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織]</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 5 人体の発生・成長・発達・加齢変化 ア 人体の発生 a 生殖形成、排卵、受精、着床、二層性胚盤、三層性胚盤、胚子期、胎児期 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 a 口腔 b 唾液腺 c 舌、扁桃 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄 b 歯周組織 7 人体の成長・発達・加齢変化 エ 口腔・顎顔面の加齢変化 a 器質的变化 8 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 ア 頭頸部の形成 a 鰓弓 (咽頭弓) b 顎顔面 (口蓋、顎関節を含む) a 歯胚の形成</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-2) 組織、器官及び個体の発生と成長 ①人体の正常な個体発生と器官発生を説明できる。 C-3-3) 組織、器官及び個体の老化 ②老化に伴う細胞、組織、器官及び個体の形態的・機能的な変化を概説できる。 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (1) 上皮組織と皮膚・粘膜系 ①上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。 C-3-4) - (2) 支持組織と骨格系 ②結合 (支持) 組織の分類と構成する細胞と細胞間質を説明できる。 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ①筋組織の分類と分布を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ⑦ニューロンとグリアの構造と機能を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口腔・顎顔面領域の発生と加齢変化 ①口腔・顎顔面領域の発生を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ①歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。 ④歯 (乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む) の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。 ⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。</p>	岡田 裕之 河野 哲朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/11 (月) 1時限 09:00～10:30	組織学・発生学の試験および解説講義		岡田 裕之 河野 哲朗
2026/05/18 (月) 1時限 09:00～10:30	生化学の試験および解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な生化学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験やCBTに関連する生化学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 c 細胞・細胞小器官の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 生命の分子の基盤 C-2-3) 細胞の構造と機能 ①真核細胞の全体像と細胞膜、核、細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能を説明できる。</p>	竹内 麗理 栗原 紀子 平塚 浩一
2026/05/25 (月) 1時限 09:00～10:30	生理学の試験および解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な生理学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験やCBTに関連する生理学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 [骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系]</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ③血管の構造と血圧調節機能を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ⑧神経の活動電位の発生と伝導の機序を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。</p>	*横山 愛
2026/06/01 (月) 1時限 09:00～10:30	微生物学の試験および解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な微生物学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験やCBTに関連する微生物学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題や関連問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	泉福 英信 *齋藤 真規 瀧澤 智美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/01 (月) 1時限 09:00～10:30	微生物学の試験および解説講義	<p>アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 キ 感染症 b 感染症</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ②細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。</p>	泉福 英信 *齋藤 真規 瀧澤 智美
2026/06/08 (月) 1時限 09:00～10:30	免疫学の試験および解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な微生物学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験やCBTに関連する微生物学および免疫学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題や関連問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 キ 感染症 b 感染症</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ②細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。</p>	泉福 英信 *齋藤 真規 瀧澤 智美
2026/06/15 (月) 1時限 09:00～10:30	歯科生体材料学①の試験および解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な歯科生体材料学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験やCBTに関連する歯科生体材料学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 学修媒体：Webclass</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 a 基本的性質</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。</p>	谷本 安浩 永田 俊介 宇田川 琢

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/22 (月) 1時限 09:00～10:30	歯科生体材料学② の試験および解説 講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な歯科生体材料学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験やCBTに関連する歯科生体材料学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 学修媒体：Webclass</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 c 印象用材料・機器</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 d 模型用材料、ワックス e 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 f 歯冠修復・義歯用材料 h 装着用材料、接着処理</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	谷本 安浩 永田 俊介 宇田川 琢
2026/06/29 (月) 1時限 09:00～10:30	衛生学①の試験お よび解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な衛生学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの衛生学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 イ 地域保健にかかる法規と制度 a 地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。</p>	*有川 量崇 長島 輝明
2026/07/06 (月) 1時限 09:00～10:30	衛生学②の試験お よび解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な衛生学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの衛生学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p>	*鈴木 到

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/07/06 (月) 1時限 09:00～10:30	衛生学②の試験および解説講義	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 7 感染症対策 ア 感染症対策と疫学 b 感染症の予防</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ③感染症の種類、予防、診断及び治療を説明できる。</p>	*鈴木 到
2026/07/13 (月) 1時限 09:00～10:30	薬理学①の試験および解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な薬理学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの薬理学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 a 薬理作用（薬力学、主作用および副作用を含む）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-6 生体と薬物 C-6-2) 薬理作用 ①薬理作用の基本形式と分類を説明できる。 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ③薬理作用を規定する要因（用量と反応、感受性）を説明できる。 ④薬物の連用の影響（耐性、蓄積及び薬物依存）を説明できる。 ⑤薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。 C-6-3) 薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 ②薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。 C-6-4) 薬物の副作用と有害作用 ①薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。 C-6-1) 薬物と医薬品 ①医薬品の分類を説明できる。 ②毒薬、劇薬及び麻薬等の表示と保管を説明できる。</p>	三枝 禎
2026/08/17 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験①	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われるCBTおよび歯科医師国家試験を通過するために必要な歯科医学の知識を修得する。前期15回の講義内容に対する理解度の確認を行う。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：これまでの講義内容、配布資料を復習する。 準備学修時間：前期を通じて 事後学修項目：平常試験における苦科目、内容を抽出した全内容 事後学修時間：定期試験（総合試験）まで</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p>	塩崎 一成 松野 昌展 神 実加 五十嵐 由里子 岡田 裕之 河野 哲朗 平塚 浩一 栗原 紀子 竹内 麗理 吉垣 純子 *横山 愛 加藤 治 泉福 英信 *齋藤 真規 瀧澤 智美 谷本 安浩 永田 俊介 宇田川 琢 *有川 量崇 *鈴木 到 田口 千恵子 三枝 禎 青野 悠里 川島 央暉

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/08/17 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験①	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われるCBTおよび歯科医師国家試験を通過するために必要な歯科医学の知識を修得する。前期15回の講義内容に対する理解度の確認を行う。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：これまでの講義内容、配布資料を復習する。 準備学修時間：前期を通じて 事後学修項目：平常試験における苦手科目、内容を抽出した全内容 事後学修時間：定期試験（総合試験）まで</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p>	<p>*久山 佳代 中山 光子 *末光 正昌 *宇都宮 忠彦 *小峯 千明 *伊東 浩太郎 *岡部 達</p>
2026/09/04 (金) 1時限 09:00～10:30	病理学の講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な病理学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの病理学の知識を修得する。 2. 病理学総論の理解に必要な疾患の分類を理解する。 3. 疾患分類を代表する疾患名を列挙できる。 4. 代表的な疾患の病因および形態学的変化を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：病理学を理解するのに必要な組織学を復習し、病理学総論に関連する日々鍛錬問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 a 健康・疾病の概念</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 7 主要症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、不整脈、血圧上昇・低下、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嚥下障害、誤嚥、悪心、嘔吐、下痢 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 d 組織〔上皮組織、結合（支持）組織（血液を含む）、筋組織、神経組織〕 6 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常・発育異常 c 細胞・組織の損傷と修復 d 炎症 g 腫瘍・腫瘍類似疾患 h 循環障害</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-1) 病因論と先天異常 ②環境と疾患の関係を説明できる。 C-5-2) 細胞傷害、組織傷害及び萎縮 ①細胞傷害と組織傷害を説明できる。 C-5-3) 修復と再生 ①修復と再生の機序と幹細胞の役割を説明できる。 C-5-4) 循環障害 ①虚血、充血及びうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。 ②出血の原因、種類及び転帰を説明できる。 ③血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 C-5-5) 炎症 ①炎症の定義と機序を説明できる。 C-5-6) 腫瘍 ①腫瘍の定義を説明できる。 ⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。</p>	<p>*久山 佳代 *末光 正昌 中山 光子</p>
2026/09/07 (月) 1時限 09:00～10:30	病理学の試験および解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な解剖学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの病理学の知識を修得する。</p>	<p>*久山 佳代 *末光 正昌 中山 光子</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/07 (月) 1時限 09:00～10:30	病理学の試験および解説講義	<p>2. 歯科医師国家試験必修に関わる病理学総論の用語を説明できる。 3. 歯科医師国家試験必修に関わる疾患の分類ができる。 4. 歯科医師国家試験必修に関わる疾患の病因が説明できる。 5. 歯科医師国家試験必修に関わる疾患の病理組織学的特徴を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3（前週）で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 a 健康・疾病の概念</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常・発育異常 c 細胞・組織の損傷と修復 d 炎症 g 腫瘍・腫瘍類似疾患 h 循環障害</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-1) 病因論と先天異常 ①染色体、遺伝子及び発生の異常を説明できる。 C-5-3) 修復と再生 ④創傷治癒の過程と関与する細胞を説明できる。 C-5-4) 循環障害 ①虚血、充血及びうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。 ④梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 ⑤浮腫の原因と転帰を説明できる。 C-5-5) 炎症 ①炎症の定義と機序を説明できる。 ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる ③滲出性炎の種類、形態的特徴及び経時的变化を説明できる。 C-5-6) 腫瘍 ①腫瘍の定義を説明できる。 ⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。</p>	*久山 佳代 *末光 正昌 中山 光子
2026/09/14 (月) 1時限 09:00～10:30	保存修復学①の試験および解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な保存修復学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの保存修復学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で行った講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。 ・準備学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、学修媒体：Webclass</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 キ 歯・歯周組織の診察 a 歯と歯冠修復物</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩擦等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。 ②minimal intervention &lt;MI&gt;に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）</p>	*小峯 千明 *神谷 直孝 *庫川 幸利 *寺中 文子 *山崎 陽祐

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/14 (月) 1時限 09:00～10:30	保存修復学①の試験および解説講義	D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防充填用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	*小峯 千明 *神谷 直孝 *庫川 幸利 *寺中 文子 *山崎 陽祐
2026/09/28 (月) 1時限 09:00～10:30	保存修復学②③の試験および解説講義	【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な保存修復学の知識を修得する。  【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの保存修復学の知識を修得する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で行った講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。  ・準備学修時間： 120分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、学修媒体：Webclass  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 303教室  【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 キ 歯・歯周組織の診察 a 歯と歯冠修復物  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-（1）齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。 ⑧修復後の管理の目的と方法を説明できる。	*小峯 千明 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐
2026/10/05 (月) 1時限 09:00～10:30	放射線学①の講義	【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な放射線学の知識を修得する。  【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの放射線学の知識を修得する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：放射線物理と画像検査法について説明できる。  ・準備学修時間： 60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、ディスカッション、ポストテスト 学修媒体：マルチメディア  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 303教室  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 ②放射線の人体（胎児を含む）への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。 ④エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑧顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	*徳永 悟士
2026/10/15 (木) 1時限 09:00～10:30	有床義歯補綴学①の試験および解説講義	【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な有床義歯補綴学の知識を修得する。  【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの有床義歯補綴学の知識を修得する。	*伊藤 誠康 *石井 智浩 *五十嵐 憲太郎 *大久保 昌和 *鈴木 亜沙子 *中田 浩史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/15 (木) 1時限 09:00～10:30	有床義歯補綴学① の試験および解説 講義	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：有床義歯補綴学に関するこれまでの講義内容の確認</li> <li>・準備学修時間：60分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>有（問題演習）</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 d 歯の欠如・欠損の治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 ③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧人工歯の選択を説明できる。 ⑨可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑩可撤性義歯の製作過程を説明できる。</p>	<p>*井上 正安 *小川 晃奈 *小出 恭代</p>
2026/10/19 (月) 1時限 09:00～10:30	歯科材料学③の講 義	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な歯科生体材料学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの歯科材料学の知識を修得する。</li> <li>2. 義歯材料の種類、組成および性質について説明できる。</li> <li>3. 歯科精密鑄造の原理と鑄造欠陥の発生原因およびその対策について説明できる。</li> <li>4. 予防歯科材料の種類、組成および性質について説明できる。</li> <li>5. 歯内療法用材料の種類、組成および性質について説明できる。</li> <li>6. インプラント用材料および骨補填材料の種類、組成および性質について説明できる。</li> <li>7. 歯科矯正用材料の種類、組成および性質について説明できる。</li> <li>8. 歯科用CAD/CAMの特徴と使用される材料について説明できる。</li> <li>9. 歯科接着技術における歯質、金属およびセラミックスの被着面処理法について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学修項目：3年生で講義した各種歯科生体材料・歯科材料について配布プリントを確認する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：配布したプリントを中心に、各種歯科生体材料・歯科材料の種類、組成および性質について整理する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 f 歯冠修復・義歯用材料</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 b 診療用器械、切削・研削工具・研磨材 e 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 g 成形技術・機器 h 装着用材料、接着処理 i 歯科矯正用材料 j 口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。</p>	<p>谷本 安浩 永田 俊介 宇田川 琢</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/19 (月) 1時限 09:00～10:30	歯科材料学③の講義	D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防充填用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ④歯科矯正用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ⑤口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ⑥歯内療法用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	谷本 安浩 永田 俊介 宇田川 琢
2026/10/26 (月) 1時限 09:00～10:30	歯科材料学③および有床義歯補綴学②の試験および解説講義	【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な歯科生体材料学および有床義歯補綴学の知識を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの歯科生体材料学および有床義歯補綴学の知識を修得する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3および医療行動科学3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。  ・準備学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 学修媒体：Webclass  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 303教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 f 歯冠修復・義歯用材料  【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	谷本 安浩 永田 俊介 宇田川 琢 *伊藤 誠康 *石井 智浩 *五十嵐 憲太郎 *大久保 昌和 *鈴木 亜沙子 *中田 浩史 *井上 正安 *小川 晃奈 *小出 恭代
2026/11/02 (月) 1時限 09:00～10:30	薬理学②の試験および解説講義	【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な薬理学の知識を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの薬理学の知識を修得する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。  ・準備学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 303教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 a 薬理作用 (薬力学、主作用および副作用を含む)  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-6 生体と薬物 C-6-2) 薬理作用 ①薬理作用の基本形式と分類を説明できる。 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ③薬理作用を規定する要因 (用量と反応、感受性) を説明できる。 ④薬物の連用の影響 (耐性、蓄積及び薬物依存) を説明できる。 ⑤薬物の併用 (協力作用、拮抗作用、相互作用) を説明できる。 C-6-3) 薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 ②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。 C-6-4) 薬物の副作用と有害作用 ①薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。	三枝 禎
2026/11/09 (月) 1時限 09:00～10:30	口腔衛生学の試験及び解説講義	【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な口腔衛生学の知識を修得する。	田口 千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	口腔衛生学の試験 及び解説講義	<p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの口腔衛生学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、学修媒体：Webclass</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 a フッ化物応用</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 b 保健指導 c 口腔清掃（歯磨剤を含む）</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ②齲蝕予防における予防充填及びフッ化物の応用方法を説明できる。 ③ブラークコントロールの意義と方法を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。</p>	田口 千恵子
2026/11/16（月） 1時限 09:00～10:30	歯周治療学の試験 および解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な歯周治療学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの歯周治療学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で行った講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。 ・準備学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、学修媒体：Webclass</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)- (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p>	*高井 英樹
2026/11/30（月） 1時限 09:00～10:30	口腔病理学①②の 試験および解説講 義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な口腔病理学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの口腔病理学の知識を修得する。 2. 顎顔面領域に発生する疾患を分類できる。 3. 顎顔面領域に発生する疾患の病因を説明できる。 4. 顎顔面領域に発生する疾患の病理組織学的特徴を説明できる。 5. 顎顔面に発生する疾患の疫学的特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p>	*久山 佳代 *末光 正昌 中山 光子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/30 (月) 1時限 09:00～10:30	口腔病理学①②の試験および解説講義	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 a 健康・疾病の概念</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 c 歯周疾患 h 先天異常・発育異常 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患 p 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-1) 病因論と先天異常 ①染色体、遺伝子及び発生の異常を説明できる。 C-5-2) 細胞傷害、組織傷害及び萎縮 ①細胞傷害と組織傷害を説明できる。 C-5-3) 修復と再生 ④創傷治癒の過程と関与する細胞を説明できる。 C-5-4) 循環障害 ⑤浮腫の原因と転帰を説明できる。 C-5-5) 炎症 ③滲出性炎の種類、形態的特徴及び経時的变化を説明できる。 ④肉芽腫性炎の種類、形態的特徴及び経時的变化を説明できる。 C-5-6) 腫瘍 ⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 ⑥腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。</p>	*久山 佳代 *末光 正昌 中山 光子
2026/12/07 (月) 1時限 09:00～10:30	歯内療法学の試験および解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な歯内療法学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの歯内療法学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医学総合講義3で学んだ歯内療法学の講義と、それに関連する日々鍛錬を解く。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有り</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	*神尾 直人
2026/12/14 (月) 1時限 09:00～10:30	クラウン・ブリッジ補綴学の試験および解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要なクラウン・ブリッジ補綴学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルのクラウン・ブリッジ補綴学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p>	*小見山 道 *若見 昌信 *小林 平 *鈴木 浩司 *淺野 隆 *内堀 聡史 *岩崎 正敏 *岩田 好弘 *石井 優貴

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/14 (月) 1時限 09:00～10:30	クラウン・ブリッジ補綴学の試験および解説講義	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 e 咀嚼障害</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。</p>	<p>*小見山 道昌 *若見 昌信 *小林 平 *鈴木 浩司 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩崎 正敏 *岩田 好弘 *石井 優貴</p>
2026/12/21 (月) 1時限 09:00～10:30	放射線学②の試験および解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な放射線学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの放射線学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：画像診断について説明できる。  ・準備学修時間： 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、ディスカッション、ポストテスト 学修媒体：マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p>	<p>*徳永 悟士</p>
2027/01/18 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験②	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われるCBTおよび歯科医師国家試験を通過するために必要な歯科医学の知識を修得する。後期15回の講義内容に対する理解度の確認を行う。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの歯科医学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：医療行動科学3後期で行った講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬問題を解く。  ・準備学修時間： 後期を通じて ・事後学修項目：平常試験における苦手科目、内容を抽出した全内容 ・事後学修時間：定期試験（総合試験）まで</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、学修媒体：Webclass</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし</p>	<p>谷本 安浩 永田 俊介 宇田川 琢 *有川 量崇 *鈴木 到 田口 千恵子 三枝 禎 青野 悠里 川島 央暉 *久山 佳代 中山 光子 *末光 正昌 *宇都宮 忠彦 *小峯 千明 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *徳永 悟士 *村岡 宏隆 *大塚 航平 *小松 知広 *伊東 浩太郎 *鈴木 亜沙子 *中田 浩史 *伊藤 誠康 *五十嵐 憲太郎 *大久保 昌和 *井上 正安 *小川 晃奈代 *小出 恭 *石井 智浩 *岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *深井 讓滋 *中山 洋平 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *高井 英樹 *石井 優貴 *山崎 陽祐</p>